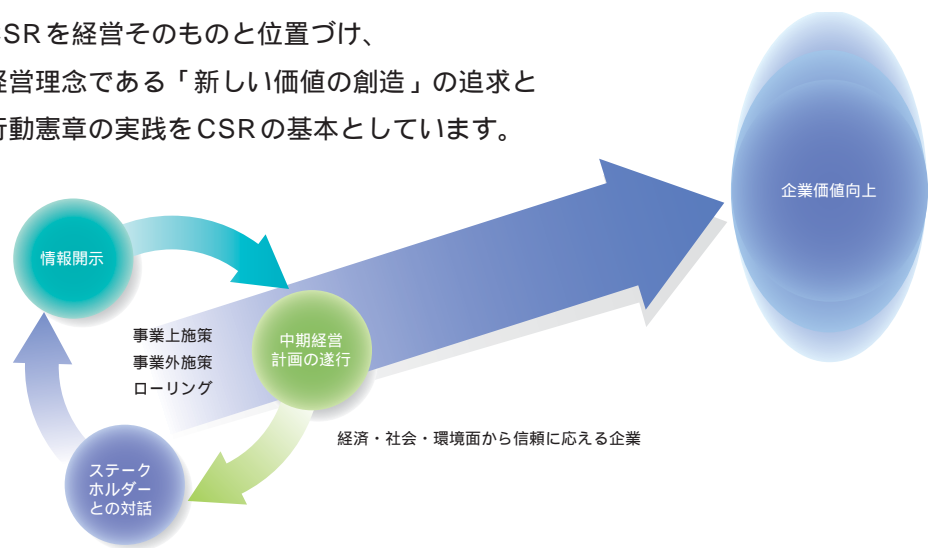


コニカミノルタグループのCSR

コニカミノルタグループでは、
CSRを経営そのものと位置づけ、
経営理念である「新しい価値の創造」の追求と
行動憲章の実践をCSRの基本としています。



グローバルに通用するCSRの展開

コニカミノルタグループは、経営統合してこの2006年度で4年目を迎え、今般、確かな成長と飛躍を基軸においた新たな中期経営計画を公表させていただき、そのなかで「グローバルに通用するCSR」をグループ経営の基本方針の1つに位置づけました。この基本方針では、「信頼される企業として、経済面に加え、社会面、環境面でのグローバル展開の強化による、企業価値の持続的向上」が掲げられ、その達成のために、「幅広いステークホルダーエンゲージメント」の強化、品質・環境経営の強化、グループガバナンスの実践と継続的改善、をコミットしています。

2005年度は、グローバル企業として「コニカミノルタCSRレポート」を創刊し、「企業の社会的責任を果たすことは、コニカミノルタグループが目指す企業価値向上につながると確信しています」というメッセージのもと、ダイジェスト版も含め、日本語、英語、ドイツ語、フランス語、中国語の5カ国版を発行しました。同レポートではCSRは経営そのものであり、経営理念の追求と行動憲章の実践がCSRの基本であるとの説明をさせていた

だき、社会、環境を含めた様々なCSR活動について報告しました。しかしながら、あわせてまだまだ改善すべき点が多くあることも報告しました。やるべき課題は多々ありますが、やはり全世界に事業を展開させていただいているグローバル市民の一員として、「グローバルに通用するCSR」の展開と定着が、幅広いステークホルダーの皆様から信頼を獲得し、当社の発展につながるものとの思いを強くしています。

この思いに立ち、グループ横断的なCSR取り組み方針のもと、社会・環境・経済の側面から日本・米国・欧州・アジア等、地域別・国別にそれぞれの文化や慣習等を尊重するとともに、CSR活動を強化し、世界で信頼されるコニカミノルタを目指して、従業員含めグループ全体で活動していきます。

*ステークホルダーエンゲージメント：ステークホルダー(利害関係者)からの意見を取り入れて、経営の判断や、企業活動に活かすこと。

CSR担当役員
常務執行役
石河 宏



経営理念

新しい価値の創造

経営ビジョン

イメージングの領域で感動創造を与え続ける
革新的な企業

高度な技術と信頼で市場をリードする
グローバル企業

企業メッセージ

The essentials of imaging

イメージングの世界でお客様に必要な不可欠なものを提供し、
必要不可欠な企業として認められる存在になる、
というメッセージです。



KONICA MINOLTA

地球をモチーフにしたシンボルマーク「グローブマーク」は、
コニカミノルタの無限の広がりや世界中のお客様に対する
新しい価値の提供を表現したものです。

コニカミノルタグループ 行動憲章より

企業は、公正な競争を通じて利潤を追求するという経済的主体
であると同時に、広く社会にとって有用な存在であることが求
められています。コニカミノルタグループは、全社員が本憲章
の精神を深く認識し、社会的良識をもって行動します。

経営トップは本憲章の精神の実現が自らの役割と責任であるこ
とを認識し、率先垂範の上、全社員に周知徹底します。また、
グループ内外の声を常時把握し、実効あるグループ内体制の整
備を行うとともに、企業倫理の徹底を図ります。

1. 商品の有用性・安全性
2. 公正・透明な企業活動
3. 社会とのコミュニケーションと情報の開示
4. 環境の保全
5. 社会への貢献
6. 社員の尊重
7. 責任ある対処

コーポレートガバナンス（企業統治）

コニカミノルタグループは、グループ経営戦略の策
定・推進機能およびグループ経営の監査機能を持つ
コニカミノルタホールディングス（持株会社）と、
事業に直結してお客様に商品やサービスを提供する
事業会社によって構成された企業グループです
（P.38 Group Formation参照）。各事業会社は、
使命達成のために必要な戦略策定や実施の権限を
持っており、スピーディな経営を行っています。
コニカミノルタホールディングスは、より公正かつ
透明性の高い経営体制とするため、2003年に日本
では先進的な「委員会設置会社」を導入しました。
委員会設置会社では、取締役会のなかに固有の権限
を持つ3つの委員会（監査・報酬・指名）があり、
経営の監督などを行っています。いずれの委員会も
それぞれ過半数が社外取締役で構成されており、委
員長は社外取締役が務め、また、代表執行役はどの
委員会メンバーでもありません。

コンプライアンス*

コニカミノルタグループが考えるコンプライアンス
は、単に国内外の法令を遵守するというだけではあ
りません。企業倫理や社内規則類までを広く含んで
います。こうした考えのもと、「コニカミノルタグ
ループ コンプライアンス行動指針」は、グループガ
バナンスを貫くものとして、企業活動におけるすべ
ての行動に対して最優先に位置づけられています。
全世界のグループ各社全従業員へコンプライアンス
意識を徹底するために、世界各国で教育・啓蒙を継
続しています。前述の「行動憲章」は、9カ国語
（日、英、中、独、仏、伊、露、スペイン、ポルト
ガル）に翻訳し、全従業員に配布しています。また、
「コンプライアンス行動指針」を説明した、「コンプ
ライアンスマニュアル日本版」と「コンプライア
ンスマニュアル中国版」を、それぞれの現地法令に対
応して作成し、配布しています。また欧米では、従
業員が守るべき具体的規範である「Code of
Conduct」のなかに、「コンプライアンス行動指針」
を組み込み、配布しています。



それぞれの委員会の役割

指名委員会

株主総会で選任される次期取締役候補者
を指名する。

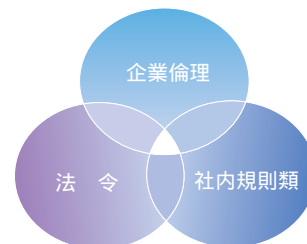
報酬委員会

取締役・執行役の報酬を決定する。

監査委員会

従来の監査役に代わって経営の監査を行う。

*コンプライアンス：法令等遵守。コニカ
ミノルタの場合、企業倫理や社内規則類
の遵守まで広い範囲を含む。



コニカミノルタグループの
コンプライアンスの範囲